

交換留学報告書

* この報告書に記載される内容は多文化社会学部のウェブサイトに記載いたしますので、予めご了承ください。

氏名	小嶺 槇乃	学年(渡航時)	3
派遣先大学	ノーザン州立大学		
国・地域	アメリカ合衆国		
派遣期間	2024	年 8 月 ~	2024 年 12 月

履修科目

1 学期目	
履修科目	授業内容
United States History I	アメリカの植民地時代から市民戦争までの歴史を学ぶ。
Introduction to Sociology	社会学の基礎。社会や文化について学び批判的に考える。
Socio-Cultural Theory	社会理論を現代の問題に適用して考える。
Social Work Practice I	ソーシャルワーカーの働き方を学ぶ。

留学レポート(1,500 字以上)

〈大学・寮について〉

ノーザン州立大学は、まずアカデミックアドバイザーがついて、どの科目がいいかを相談しながら履修登録できます。私は、社会学の授業を主に履修しましたが、社会学の中でも評判の良い先生や、留学生にとってはきつい授業などいろいろ教えてくれたので頼りになりました。ノーザン州立大学のあるアパディーンは田舎で、交通機関もほとんどありません。現地の学生はほとんど車を持っているので、大学の外にでるときは友達に連れて行ってもらっていました。寮に住むことになっており、一人部屋から三人部屋までいろいろなタイプの部屋があります。私はGPEという一番安い寮に住んでいましたが、清潔感があり快適に過ごせました。その寮は、シャワールームは共同で、スタディールームが各階に一つずつ、またテレビがついたちょっとしたスペースが各階に四つほどあります。寮は5つほどありますが、GPEにだけコンビニがついているので便利でした(違う寮に住んでいても買いに来ることはできます)。一人部屋がいいならマクウェルシュ(冷房なし暖房あり)、安くていいならGPE、共同部屋でもお風呂やトイレが部屋についている方がいいならGPWが良いと思います。その他の寮のことはあまりわかりません。すべての寮にキッチンがついていますが、留学生はミールプランが強制なので、それを使い切るために、食堂に行ったり、ベーグル屋に行ったり、コンビニに行ったりすることが多かったです。毎日自炊している留学生もいましたが、食材は現地の学生と一緒に買いに行くことが多いので、食材の調達が面倒で私はあまり自炊しませんでした。アジアンマーケットやウォールマートというスーパーにアジアコーナーはありますが、調味料はあまり売られていないので自炊するなら日本から持ってきておいの方が良いです(醤油、味噌、めんつゆ、だしの素など)。この大学はアジアの留学生はとても多いですが、現地の学生はほとんど白人で異文化はあまり感じられませんでした。向こうからというよりは自分から話しかけるとみんな優しいので友達になれると思います。

〈授業について〉

授業は日本と比べると本当に課題が多いです。課題がない日はあまりありませんでした。GPEは共有スペースが多いので、みんなで一緒に課題ができて楽しかったです。1回 50 分、月水金の週 3 日の授業と、1回 75 分、火木の週2日の授業がありました。私は毎日 9 時から授業を取っていましたが、夜まで課題に追われることが多く、朝早い授業はきつかったです。私は歴史の1の授業を取りましたが、2の授業は教授が韓国好きでアジアの生徒に優しく、ホームパーティーも何度か開いていました。楽しそうだったのでその教授の授業を取ってみてもいいかもしれません。教授はみんな優しく、相談にも乗ってくれるので、気楽に授業を受けられました。すべての授業や課題の中身が濃ゆく、深く学べるのでとても楽しかったです。

〈平日の過ごし方〉

私は 9 時からお昼過ぎまで授業で、そのあとは友達とゲームをしたり、課題をしたりして過ごしていました。田舎なので大学からでることはあまりないです。大学のいろいろな団体が様々なイベントを行っているので、毎週何かしらのイベントにも参加していました。基本は、夕方までゲームや課題をして、夜ご飯を食べ、ジムに行き、また友達と課題をするという過ごし方でした。ジムは無料なので、気分転換にも良かったです。

〈休日の過ごし方〉

寮に住みますが、ホストファミリーの制度があり、ボランティアで現地の方々がホストファミリーになってくださいます。ホストファミリーに申し込むと、担当者がその方々とつなげてくれます。私が行った学期は留学生が多く、ホストファミリーの枠が埋まっていたのですが、友達のホストファミリーに空きがあるということを知り、私は自分からそのホストファミリーをお願いをしました。ホストファミリーによって活動内容が結構異なるので、前学期からいる留学生に聞き、自分に合ったホストファミリーを探すと思います。私は、ホストファミリーと毎週末ボランティア活動に参加したり、家でゲームをしたり、ご飯を食べに行ったりしていました。ラッシュモアという観光地にもホストファミリーが二泊三日で連れて行ってくれました。休日は暇な事も多いので、ホストファミリーの制度はとても良いと思います。また、現地の学生とも集団で毎週末遊んでいました。彼らとは一緒にスポーツをすることが多く、楽しかったです。

この大学は、サポート体制もしっかりしているし、人も良いのでお勧めです。田舎なのでどう過ごすかは、友達をどれだけ作れるか、また自分の動き方次第で大きく変わってくると思います。

留学中の写真(5 枚程度) ※写真のキャプションも入れること



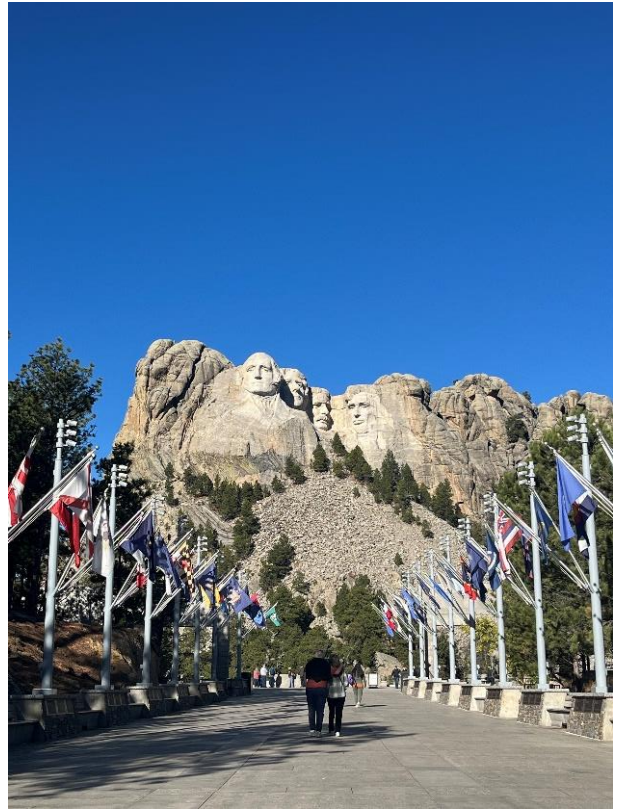
教会での配膳ボランティア



フットボールの試合観戦



ホストファミリーのペットの馬



サウスダコタの観光地ラシュモア